



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No. 270

第2回 定例会

再生紙を使用しています



五反野コミュニティ公園
じゃぶじゃぶ池

足立区議会写真部 白石 正輝 撮影

区長提出議案を可決

平成27年度足立区一般会計補正予算(第2号)

— 足立区観光交流協会助成事務、緊急雇用対策事業、労務単価上昇等による工事経費の増額等、特に緊急度の高い経費、6億9千万円余の増額補正としました。

議員提出議案を可決

地方単独事業に係る

国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

認知症への取り組みの充実強化を求める意見書

平成27年第2回 定例会のあらまし

第2回定例会は、6月24日から7月10日までの17日間で開会しました。
今定例会では、平成27年度足立区一般会計補正予算(第2号)等、2会計の補正予算について、原案のとおり可決しました。
その他の区長提出議案57件について、すべて原案の

とおりの可決したほか、諮問1件を妥当なものとして答申しました。
また、議員提出議案3件について、全会一致で可決しました。

請願・陳情30件については、12件を不採択とし、他18件を継続審査としました。

主な内容

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 6面 ● 議決結果
- 7面 ● みなさんからの請願・陳情
- 今定例会で可決した意見書 (要旨)
- 意見の分かれた案件
- 委員会活動
- 8面 ● 傍聴・議会広報のご案内
- みなさんの声を 請願・陳情で
- ようこそ足立区議会へ

議員(候補者を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています

議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。
また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典があります。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

問

代表・一般質問を平成27年6月24日、25日、26日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無会派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

改選後最初の本会議にて

足立区施策全般を問う

自由民主党 ただ太郎 議員



区長の考える3期目への思いは

【問】今回の選挙直後、区長は区の舵取りについて、これまでも増した意気込みを述べていた。3期目を迎え、これからの区政運営についてトップリーダーである区長の決意を伺う。

【区長】元気高齢者に対する施策と地域包括ケアシステムの早期構築が、高齢者対策の中心の柱建てと考えている。一方、若年層の区内定着の促進は最重要課題であり、エリアデザイン地域を核に、さらなる魅力創出を通じて区内経済の活性化に力を注いでいく。

また、孤立や困難な状況の方々に寄り添える懐の深い自治体へと一歩一歩成長できるように、施策や事業を実施していく。**新たな基本構想・基本計画は**

【問】現行の基本構想・基本計画に基づき、区がこれまで取り組んできた結果をどのように評価するか。

また、新たな基本構想・基本計画の計画期間、策定する上で重要と考えるビジョンは何か。

【区長】策定過程の審議会の中で、現行の構想・計画に一定の評価をしていただき、その評価を踏まえた上で、新しい構想・計画の策定という形でつなげていきたいと考える。

新たな構想の計画期間は30年

があり、区民にどのような恩恵をもたらすと考えるか。

【政策経営】東医療センターには、今まで区内になかった救急救命センターとしての役割を果たす第三次救急病院等の特性があり、区民の命を守る機能が整備されている。考えられる区民への恩恵については、高度医療を有する第三次救急病院の存在がもたらす安心感と考える。

【問】綾瀬駅前再開発の状況は踏まえ、綾瀬エリアデザインを今後どのように進めていくのか。

綾瀬小の建替え、東綾瀬中の改修とともに、ハト公園の活用も視野に入れて進めていくこともできると考えるがどうか。

【資産管理】綾瀬駅前再開発の建物規模や建設スケジュール、それに伴い影響が予想される綾瀬小や東綾瀬中の施設規模の検証等を中心に進めていく。

また、エリアデザインの再検討の中で、まちの魅力創出等を視野に入れた、周辺の都市地や民有地との効果的な連携を模索していく。

【問】来年の夏はリオデジャネイロ五輪が開催される。東京五輪開催時に向けた、プレ一校一校運動として全校で取り組んでいくことを要望するがどうか。

【教育指導】都教委や庁内関係部課と連携を図りながら、一校一校運動をはじめ、さらなる国際理解教育の内容の充実を図っていく。

【問】地下鉄8号線区内延伸の実現を

【問】地下鉄8号線の区内延伸

が明確に位置付けられた際は、新駅や沿線の町並みの整備等を具体的に基本構想に盛り込み、区をあげて一丸となり計画を進めていく必要があると考えるがどうか。

【鉄道立体】鉄道整備とまちづくりは一体的に取り組むことで相乗効果が発揮され、沿線地域の活性化や魅力向上につながるものと認識している。新しい基本構想・基本計画に重点項目として盛り込み、区をあげて計画を推進できるよう、庁内関係部署と調整を図っていく。

【問】土づくりの里の覆がい化は、公園広場整備という枠にとられず計画を進めてほしい。

例えば、スポーツ施設・教育関連施設の誘致やコンサートやイベント会場にも使えるような施設の整備等、好立地条件と広大な敷地面積という、稀に見るこのチャンスを逃すことなく、夢のある覆がい化整備を実現すべきだと考えるがどうか。

【都市建設】夢のある覆がい化整備については、平凡な発想ではなく、様々な観点からの検討が必要であると認識している。

【問】教育大綱に盛り込む内容は

【問】教育大綱にはどのような内容が盛り込まれるのか。大綱策定の当事者である区長の見解を伺う。

【区長】区の子育てを促進し、こ

んな人間に育ってもらいたい

という目標を大理念として掲げ、次に子どもたちの成長に応じて、乳幼児期・青少年期・成人期の3つのステージごとに、それぞれの段階に応じて身に付けてほしい力は何かを明らかにしていくと考える。

特に、子どもの貧困対策は早め早め、切れ目なく丁寧な教育施策に横串をさすイメージを進めていくことも盛り込みたいと思っている。

置するという措置を講じた意図はどのようなものか。

また、待機児ゼロに向けた具体的な取り組みをどのように進めていくのか。

【教育長】働きながら安心して子育てできる環境づくり、つまり待機児童の解消は最重要課題と捉えている。これまで保育所の設置が後手に回っていた状況を打破し、地域ごとの保育需要まで綿密に分析を行っていく。

まず、フルタイム就労世帯の待機児を早急に解消するため必要な施設整備を行い、また、0から2歳児の受け入れ先として地域型保育事業の利用促進のため、子育てイベント、SNS等を活用したPR活動を行う。

さらに、3歳児以降の連携施設の仕組みづくりにも着手し、保育人材の確保のため、保育士養成機関等との連携や経済的支援策についても検討していく。



待機児ゼロに向けた取り組みは

【問】区は本年5月1日に「待機児ゼロ対策担当課」を新設した。年度当初に新たに組織を設

マンション住民との絆を！ 頑張る子どもに支援を！

自由民主党 藤沼壮次 議員



【問】自治会のないマンションの管理組合を自治会とみなし、代表者を町会長会議へ参加させることはできないか。

また、防災等の行政情報を住民に伝える方法を考えるべきではないか。

【地域】ただちに町会・自治会とみなすことは難しいが、地区の会議への参加等について町会・自治会長に働きかけていく。

また、区からの様々な情報提供

育英資金制度の見直しを

【問】育英資金の返済期間の延長や返済方法の弾力化等、利用者にとって、より魅力ある利用者しやすい育英資金になるよう制度を見直す時期が来ていると思

う。所得連動返還型奨学金制度を取り入れたら、給付型や返還免除型育英制度等を創設すべきでないか。

用語解説

*一校一校運動：五輪開催地の学校が出身国や地域を決めて、文化や言語の学習や、その国の選手や子どもたちとの交流を通して異文化理解を深める活動

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

【学校教育】 今後、他の奨学金制度の状況等を参考に返済期間の延長について検討し、所得連動返還型奨学金制度については、他の奨学金の実施状況を参考にしながら研究していく。給付型や返還免除型英制度は、区では恒常的な制度とするためには課題が多いと認識しているが、区民や企業等から寄付があった場合には検討したい。

第二のはばたき塾の実施を

【問】 成績上位者を対象としたはばたき塾と同様に、経済的理由で塾に通うことが難しい成績上位でない子どもたちにとっても、高校受験のための塾の活用は必要である。これらの子どもたちを対象とした第二のはばたき塾を実施すべきではないか。

東京オリンピック・パラリンピック施策について

自由民主党 工藤 哲也 議員



第二次足立区生涯スポーツ振興計画との整合性は

【問】 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて、計画との整合性を含め、区はどのように捉えてスポーツ施策を進めていくべきと考えているか。
【地域】 大会後に何が残せるか、いわゆる「レガシー」が重要であり、障がい者スポーツの振興をはじめ、区民が区出身の選手を応援するという風土づくりもレガシーになり得ると考える。

また、オリンピック決定前の計画ではあるが、障がい者スポーツやボランティア育成の記述もあり、方向性に大きな齟齬はないと考える。

用語解説

* マッチングクリエイター... 企業を訪問し、受発注を希望する企業同士をマッチングや支援策の提供を行う相談員

* 産学連携コーディネーター... 産官学交流センター内で企業からの相談を受け、技術的助言や研究室との連携の仲介等を行う相談員

* 地震ブレイカー... 設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断する器具

き塾を実施すべきではないか。
【教育長】 進学指導重点校以外を希望する子どもたちに、中学校での日々の授業で基礎学力の定着を図り、放課後の補習教室や夏季休業中の補習等の充実が公立学校の使命と考える。これを第二のはばたき塾とし、今後、一層の充実を図り、子どもたちが将来の夢につながる希望校へ進学できるよう努めていく。



【問】 各大学との連携の中で施設を利用することも可能である。国や競技団体・経済団体等と連携し、先進地の調査や情報収集、パンフレット作成等、事前キャンプ誘致に向けて積極的に進めべきと考えるがどうか。



【地域】 区内3施設が候補としてエントリーしており、正式会

足立区議会公明党

足立の魅力づくりにさらなる活力を

公明党 小泉 ひろし 議員



江北地域のエリアデザインを魅力あるものに

【問】 区は東京女子医科大学と「東医療センター」移転に関する覚書を取り交わした。第三次救急や周産期医療・がん治療等の診療体制確保と合わせ、迅速かつ的確な医療措置により、初診患者の負担軽減につながる総合診療科の設置を要望すべきだがどうか。

また、エリアデザイン検討地域内に、江北小学校と高野小学校の統合新校を整備してほしい旨の要望が提出されているが、実現に向けての見解を伺う。
【政策経営】 総合診療科の設置は、大学や区医師会等の調整を行いながら、診療科目等を含めた病院の機能を決定していく予定である。

を発行し、その後のボランティア活動を積極的に後押しすることも必要ではないか。

【地域】 区では5千人がボランティアの目標数となる。未成年者の活動には制限があるが、大学や高校と連携した養成は大変重要と考えており、その中で国際理解や多言語習得の講座メニューも取り入れていく。区独自の認定書については、大会後の活動も視野に入れた発行を検討するとともに、活動が継続できる仕組みについて工夫していく。

また、統合新校の整備は、エリアデザインの検討地域内で、平成28年度上期を目標として敷地の確保に向けた取り組みを進めており、敷地の確定ができた第、区教委は本格的な検討を行うっていくこととなっている。

【問】 区の「産学公」の取り組み等に対する区内企業への周知は十分とは言えない。マッチングクリエイターや産学連携コーディネーターを積極的に活用して、制度のPRや大学との連携誘導に取り組むべきだがどうか。
【産業経済】 これまで定期的な意見交換等は実施していなかったが、今後は情報交換の機会を増やし、企業への同行訪問等、協力体制を強化し、制度のPR

新たな減災対策として

【問】 建物の耐震化とともに、火災の発生を抑える感震ブレイカーの取り組みは重要である。まずは火災危険度の高いモデル地域で導入し、建物の倒壊危険度の高い所や高齢者、障がい者などの世帯等を対象とした助成を検討すべきだがどうか。

【建築】 対策を講ずるべきモデル地域を設定し、設置目標を設定するとともに、助成を含め早期に制度設計を進めていく。

【問】 区産業展示会「あだちメッセ」への参加を契機に飛躍した企業等を集める等、成果の見える化を図るべきだがどうか。
【産業経済】 出展後の成果を詳細に把握するとともに、飛躍企業その後の活躍を公社ニュースときめきで紹介する等、広報を強化していく。

【問】 観光交流事業を成功させるには、女性の視点が欠かせない。役員構成に占める女性の割合に配慮すべきだがどうか。
また、専用ホームページの充実と観光リポーターの配置等、タイムリーな観光情報を常時発信し、区の魅力を今以上に売り込むシティーセールスを強化すべきだがどうか。

【産業経済】 選出団体に対しては、女性の積極的な推薦を呼びかけるとともに、就任いただく女性役員の意見を事業に反映していくように努めていく。
シティーセールス強化では、時期にあわせて区内の見所の写

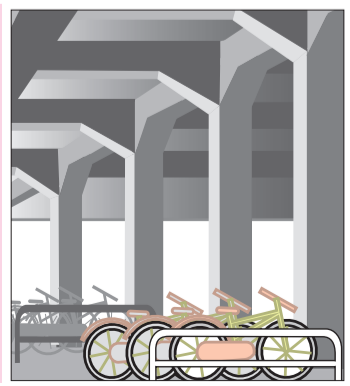
真を掲載する等、ホームページの充実に取り組み。その際、区民や「街の駅」スタッフが地域の取材を行い、タイムリーな情報発信ができるよう観光リポーター的な取り組みを進めていく。
【問】 日暮里・舎人ライナーの混雑解消と自転車駐車場の増設を

【問】 日暮里・舎人ライナーのラッシュ時の混雑状態緩和にはさらなる改善が必要である。途中駅からの始発便を繰り入れる等、新たな対策を強く都に要望すべきだがどうか。

また、沿線の自転車駐車場では、多くの方が定期利用のキャンセル待ちをしている状況である。高架下スペースを利用する等、さらなる設置に取り組むべきだがどうか。

【都市建設】 途中駅からの始発便の繰り入れ等、混雑緩和対策は、引き続き他の対策も含め都に要望していく。

また、沿線の自転車駐車場は、高架下等の都有地活用に加え、設置補助金活用による民営自転車駐車場の誘致や民有地の確保等、様々な手段を講じ、設置に取り組んでいく。



子ども・子育て支援新制度では子育てコンシェルジュの活用を
【問】 平成27年4月より子ども子育て支援新制度がスタートした。今後はブロック制等、地

域を分けて子育てコンシェルジュによる情報連絡・相談・調整が重要だと思いませんか。
【子ども】 平成27年度は、地域の状況を踏まえた子育てサロンの充実を図っていく。

子どもの貧困対策と北部地域の都市整備について！

公明党 くぼた 美幸 議員



子どもの貧困を解決するために
【問】 ①子どもの貧困対策検討会議における実施計画の策定スケジュールを伺う。

また、計画策定の作業部会とメンバー構成についても伺う。
 ②「子どもの健康・生活実態調査」の調査項目には高度な個人情報が含まれると聞いている。プライバシー保護の観点から情報をどのように管理するのか。

また、調査の目的を区民に丁寧に説明すべきだがどうか。

【貧困対策】 ①区長を本部長、関係所管の部課長をメンバーとした「子どもの貧困対策本部」に、学識経験者を加えた「子どもの貧困対策検討会議」を設置し、各々に「教育・学び」と「健康・生活」の2つの部会を設けている。

体系や指標の検討を進め、9月末を目途に実施計画案を策定予定である。策定した計画の評価、見直しの仕組みづくりは9月以降に着手し、年度内には確定していく。

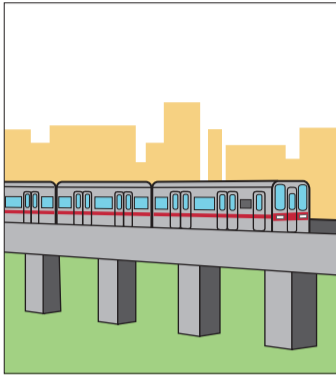
【衛生】 ②質問票と回答票を分け、回答票は無記名で6桁の乱数による整理番号と回答項目の数字のみを記載し、個人が特定されない仕組みとした。整理番

等でのきめ細やかな相談、イベントやSNSを活用した情報提供を強化し、名称も新たに「保育コンシェルジュ」として内容の充実を図っていく。

号と氏名等を突合する名簿は区で厳重管理し、外部提供も一切しない。さらに、回答内容がごく少数の事例で個人が特定される恐れがあるケースは、データを使用せず公表もしない。

保護者からの問い合わせには、本調査の趣旨を丁寧に伝えるとともに、同意を前提の上での回答が原則である等、説明し、了解を得ながら慎重に行っていく。

【問】 平成28年の3月までには下り急行線の高架橋が完成する予定と聞いている。完成後、運行までのスケジュールを伺う。



【鉄道立体】 年末頃から軌道工事に着手予定である。ある程度進んだ段階で、架線等の電気関係工事の検査を受け、完了後、関係機関の検査を受け、平成28年度早々には、下り急行線が高架橋の上を走る予定である。

女性の健康の推進と魅力ある梅田地域のデザインを！

公明党 さの 智恵子 議員



子宮頸がん・乳がん検診でも再勧奨事業を実施せよ

【問】 区は、大腸がん検診で精密検査が必要な方にアンケートを送付する再勧奨事業を行い、高い効果があったと聞いている。同様の再勧奨事業を、子宮頸がん検診と乳がん検診でも実施すべきと思うがどうか。

【衛生】 昨年度実施した大腸がん検診における精密検査未受診者へのアンケート等により、未受診の理由等を把握することができた。今年度、この成果を踏まえ再勧奨事業を子宮頸がん、乳がん検診未受診者にも拡大し実施する予定である。

梅田アパート建替え余剰地には複合施設の建設を

【問】 全国的に厳しい財政状況もあり、保育園や児童館等の子ども施設と、老人ホーム等の高齢者施設の合築・併設の動きが少なくない。待機児童解消と特別養護老人ホームの入所待ち解消に向け、都営梅田アパートの建替えに伴う余剰地に、複合施設を建設すべきと思うがどうか。



【政策経営】 エリアデザイン推進本部でエリア内公共施設再編整備の取り組みを進め、複合化も含めて、どのような方策が適切である等、検討を進めていく。
【問】 公園利用時の安全対策を問う

【問】 梅島三丁目の東武線高架下、梅島西公園隣に新設される保育園は、高架下に園庭はあるが、晴れた日には梅島西公園を使う計画になっている。公園の

日本共産党足立区議団

平和とくらし・地域を守る

区民によりそう区政に

日本共産党 ぬかが 和子 議員



入口には施設できるものがなく、保育士の目が届かず車道に飛び出す危険があるが、対策を伺う。
【子ども】 梅島西公園は、道路に面している部分のどこからでも出入りできるような造りとなっている。車道に飛び出す危険が想定されるので、簡易な可動柵設置等の対応を検討していく。

また、保育事業者には、下見の実施や職員間で危険箇所の情報共有を徹底するよう指導を行い、公園利用の際には職員を多めに配置するとともに、児童を道路のそばで遊ばせないよう指導し、安全確保に努めていく。

配置のガイドラインは、来年度人口動態のデータを改めて分析した上で見直す。その際は、エリアデザインによる人口動態も可能な限り考慮する。
 ②可能な範囲で快適な学校環境の改善を目指し、着実にトイレの改修を実施していく。
 また、冷房化は、平成29年度までに今後のエアコン更新・設置計画を策定していく。
 ③無料化を実施する予定はない。
【問】 特別養護老人ホームは、第六期介護保険事業計画の420床では不十分であり、さらなる増設計画を持つべきだがどうか。

【福祉】 入所待機者の更新調査の精度を高め、状況を把握し、必要な整備を検討していく。

燃えない街と避難路確保が急務
【問】 木造密集地域において、①袋小路の実態をつかみ、対策を講じるべきと思うがどうか。
 ②電気に起因する火災を防ぐため、感震ブレーカーの設置助成に踏み切るべきではないか。
【建築】 ①建物の倒壊危険度の高い特定地域に、約千本の行き止まり道路を把握している。避難路の確保は重要な視点であり、年内に支援策を検討していく。
 ②設置助成は、モデル地域を設定し早期に制度設計を進める。



【子ども】 ①離職状況を把握し問題ある場合は、運営法人に説明を求め改善を指導する。運営費も公金が適切に使われているか確認し、不十分な場合は改善を指導していく。
【総務】 ①今後も、公契約条例適用案件の受注者に対し、週休2日の確保等、労働環境の向上

合は、近隣公園や屋上の利用を指導していく。
 ③現在、区内には4階以上に設けられた保育施設はない。今後、低層階に設けられるよう保育事業者に対し働きかけていく。
 ④民営化を計画的に進める一方、将来的にも一定程度の区立保育園の存続が必要と認識している。
 ⑤1人も保育していない方への対応について検討していく。

にも協力を求めていく。
② 現段階で実態調査を実施する
考えはない。今後、他の自治体

待機児童解消、認可保育園 増設と千住地域の街づくり

日本共産党 西の原 えみ子 議員



より良い保育環境の整備を求む

【問】これまでの待機児童解消
アクション・プランの中心は、
認可保育園以外の保育施設の利
用促進等で、その踏襲では保護
者の願い・ニーズには応えられ
ず、矛盾は深まるばかりである。
都は、都や国の土地を活用し
た福祉・子育て施設の建設促進
に取り組んでいる。区も、旧千
住消防署敷地等の都有地や西部
工事事務所跡地等の区有地を、
積極的に活用すべきだがどうか。

【子ども】保育施設整備にあた
って、区有地、都有地の活用を
図り、確実な整備を進めていく。



千住で暮らしす地元住民の目線で
まちづくりを進めよ

【問】足立都税事務所移転後の
跡地活用を、区は5年間も放置
していたのに、昨年突然、都に
対し市街地再開発事業への参加
協力要請を行った。企業から事
業の話を持ち掛けられ、区が動
き出したと地元で言われている。
特定企業の思惑で事業を進める

の動向を注視しながら、元請と
一次下請は社会保険加入者に限
定する方向で検討していく。

やり方はおかしいのではないかと

足立区議会民主党

各種収納率などの23区 ワースト1の脱却宣言を!

民主党 鈴木 あきり 議員



区のブランドデザインとは

【問】各エリアデザインを描く
前提として、まず区全体のグラ
ンドデザインがなくてはならな
いが、それは何か。エリアデザ
インごとのコンセプトも重要と
なると思うがどうか。

【政策経営】区全体のブランド
デザインとは、区の将来像を示
す基本構想と、実現するための
基本計画があたる。エリアデザ
インごとの要となるコンセプト
も、新たに策定する基本構想及
び基本計画の中で示していく。

23区ワースト1の脱却宣言を

【問】今後「各種収納率」「健
康寿命」「高校中退者数」等の
23区ワースト1の脱却に力を入
れ、まずは脱却宣言をしてほし
いかどうか。

【政策経営】区として非常に重
要な課題と認識しており、今後
も改善に向け取り組んでいくが、
脱却宣言は、それぞれの取り組
み状況をみながら検討していく。

【都市建設】区では再開発の動
きを注視してきたが、準備組合
において気運が高まったと判断
し、確実に地域に資するまちづ
くりとなるよう、要請すると
もに指導してきた。

また、都への参加協力要請は、
都市基盤の充実や地域の活性化
子育て支援、防災性の向上を図
る狙いからお願いした。

個人情報を守るための防衛策を

【問】日本年金機構等の個人情
報流出問題の教訓から、他区や
都と連携して共同の防衛策等を
検討すべきではないか。

【政策経営】情報セキュリティ
を考慮した運用体制構築に取り
組み、共同防衛策を含め、万全
の対策を引き続き検討していく。

【問】残土プラント「土づくり
の里」に一番近い自治会で苦渋
の決断の末、地元要望の実現を
条件に、覆がい化を認める方向
が決議された。重要な局面の今
地元住民に、最大のパートナー
として、調整役として、最大限



の努力を約束すべきだがどうか
都に「安心と夢ある施設」とし
て整備させるよう、区も責任を
果たす立場にあるのではないか。

また、都下水道局、建設局と
地元住民代表、区の四者で「施
設のあり方検討会」を立ち上げ
る準備を進め、区が調整役とし
て責任を果たすべきだがどうか

【都市建設】都と地域の調整役
として「安心と夢ある施設」整
備につなげていきたいと考える。

今後、早い段階で四者による
協議会を立ち上げ、地元住民の
要望を反映できる仕組みづくり
を行い、住民の最大のパートナ
ーとしての責務を果たしていく。
地下鉄8号線区内延伸の実現へ

【問】答申に向けて重要な局面
である今こそ、エリアデザイン
の努力を約束すべきだがどうか
都に「安心と夢ある施設」とし
て整備させるよう、区も責任を
果たす立場にあるのではないか。

【学校教育】教育目的に限定し
た学校外教育クーポンは、導入
している他自治体の効果を調査
し、研究していく。
区でも企業からの寄付を原資
とした返済義務のない奨学金制
度の実施経験があり、寄付があ
った場合は検討したいと考える。

の重要な位置づけにより、強く
アピールできると思うがどうか
また、ただ誘致運動するだけ
でなく、大きな仕掛けも必要と
思うが、他に行わないのか。

【鉄道立体】現段階で、エリア
デザインへの位置づけが答申へ
影響を与えることはない想定
される。区内延伸が次期答申で
明確に位置づけられ、新線の基
本計画に着手する段階では、エ
リアデザインとして選定、新駅
周辺まちづくりを全庁的に検討
することが重要と認識している。

また、沿線地域にとって、中
川公園は核となる施設の一つで
ある。地域の声を踏まえ、単な
る公園整備ではなく、大きな仕
掛けづくりの可能性も検討し、
地域の活性化を目指していく。

教育クーポン、奨学金、保 育園と学校の合築を推進!

民主党 米山 やすし 議員



頑張る子どもたちのために

【問】通塾支援事業の対象を就
学援助世帯に拡げ、学校外教育
クーポンを配付してはどうか。

また、専門学校や大学等への
進学に、返済義務のない奨学金
の自治体ならではの試みとして、
江戸川区の育英資金がある。区
も工夫すべきと考えるがどうか

【資産管理】①公共施設等総合
管理計画を策定中だが、持続可
能な自治体経営のためにも、延
べ床面積削減の必要がある。保
育や高齢者施設等との合築も選
択肢の一つとして検討していく。
【子ども】②保育施設の整備は
喫緊の課題である。聖域なく、
区有地の活用を進めていく。

無
説明不足・調査不足

区民と進める街づくりを!

無党派 へんみ 圭一 議員



責任を持って地元説明すべき

【問】綾瀬地域では、エリアデ
ザイン計画策定前に住民説明会
が一度だけ開催された。その後
区の情報発信が乏しいため情報
が錯そう、噂や憶測が渦巻いて
いる。住民説明会を開催し区が
責任を持って、より多くの人々
に現状報告すべきだがどうか。

【資産管理】本事業の凍結と綾
瀬エリアデザインの再検討の状
況については、今後、あらゆる
機会を活用して丁寧に地元の方
々に説明していく。

【問】住民とともにまちづくり
像を練り上げるには、地元の様
々な人に集まってもらい、地域
の将来を話し合うワークショップ
を行うべきではないか。人と
人がつながるまちづくりを進
めていくべきだが、ワークショップ
形式での綾瀬エリアデザイ
ン再構築について見解を問う。

【資産管理】綾瀬エリアデザイ
ンの見直しにおける区民意向の
反映手法については、どの機会
にどの様な取り組みを実施する
ことが有効かを改めて検討し、
まちの魅力創出に努めていく。
【問】医療と介護のニーズを併
せ持つ高齢者を地域で支えるに
は、在宅医療が地域包括ケアシ
ステムに不可欠であり、在宅医



第2回定例会
議決結果

区長提出議案

可決したもの

補正予算

平成27年度足立区

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6億9千422万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千696億8千329万5千円とするもの

平成27年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7千322万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ984億3千146万2千円とするもの

(以上2議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

条例

足立区特定個人情報保護条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、特定個人情報等の保護等に必要措置等を定めるもの

足立区一般職の任期付職員

の採用に関する条例の一部を改正する条例

一般職の任期付職員の採用の枠を拡大するもの

足立区事務手数料条例の一部

を改正する条例
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律の施行及び食品製造業等取締条例の改正等に伴い、規定を整備するもの

足立区教育委員会教育長の給料等に関する条例を廃止する条例

教育長の給料等を足立区長等の給料等に関する条例で定めることとしたことに伴い、足立区教育委員会教育長の給料等に関する条例を廃止するもの

足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

東栗原学童保育室を設置するもの

足立区鹿浜いきいき館条例の一部を改正する条例

足立区鹿浜いきいき館の児童施設の利用時間を変更するもの

足立区福祉施設指定管理者等評価委員会条例

足立区福祉施設指定管理者等評価委員会を区長の附属機関として設置するもの

足立区地域包括ケアシステム推進会議条例

足立区地域包括ケアシステム推進会議を区長の附属機関として設置するもの

足立区福祉施設指定管理者等選定審査会条例の一部を改正する条例

福祉施設指定管理者等選定審査会の所掌事項を追加するもの

足立区ボランティア施設条例の一部を改正する条例

足立区立母子生活支援施設の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

足立区軽費老人ホーム条例の一部を改正する条例

足立区高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例

足立区知的障がい者大谷田グループホーム条例の一部を改正する条例

以上、5議案いずれも指定管理者の管理運営の評価を福祉施設指定管理者等評価委員会に諮問するもの

足立区障がい者通所支援施設条例の一部を改正する条例

足立区身体障がい者大谷田ホーム条例の一部を改正する条例

以上、2議案いずれも指定管理者の管理運営の評価を福祉施設指定管理者等評価委員会に諮問するとともに、実施事業の変更に伴い、規定を整備するもの

足立区精神障がい者自立支援センター条例の一部を改正する条例

指定管理者が行う業務の評価を足立区精神障がい者施設指定管理者選定等審査会において行うもの

足立区介護保険条例の一部を改正する条例

保険料率を改定するもの

足立区指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区プールの衛生管理に関する条例の一部を改正する条例

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、幼保連携型認定こども園において設置するプールを届出の対象とするもの

足立区建築審査会条例の一部を改正する条例

マンションの建替え等の円滑化に関する法律の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区神明三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の一部を改正する条例

足立区細街路整備助成条例の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区に係る沿道地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区細街路整備助成条例の改正等に伴い、規定を整備するもの

足立区高野地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区花畑北部地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区島根四丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区新田地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区六町地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区江北三・四丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区佐野六木地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区上沼田南地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区西新井駅西口周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区土地区画整理事業を施行すべき区域に係る地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区中川二丁目南地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区東綾瀬二・三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区西新井三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区綾瀬七丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区千住大橋駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区千住旭町地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区花畑五丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

以上、18議案いずれも建築基準法等の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立校外施設指定管理を改正する条例

足立区立校外施設指定管理者評価委員会を設置するもの

足立区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例

足立区青少年問題協議会の委員の人数を変更するもの

公益財団法人足立区体育協会の助成等に関する条例

公益財団法人足立区体育協会に対して助成等を行うもの

一般財団法人足立区観光交流協会の助成等に関する条例

一般財団法人足立区観光交流協会の助成等に関する条例

入谷大橋及び花畑大橋耐震補強等工事請負契約

条件付一般競争入札

鹿浜五色桜小学校新築工事請負契約

条件付一般競争入札

鹿浜五色桜小学校新築工事請負契約

条件付一般競争入札

三浦・田中・新井

建設共同企業体

亀田小学校増築その他工事請負契約

条件付一般競争入札

白谷・コーセー

衛生設備工事請負契約

条件付一般競争入札

第一冷暖房

伊興小学校改築電気設備工事請負契約

条件付一般競争入札

トーテック・清水

伊興小学校改築給排水衛生設備工事請負契約

条件付一般競争入札

拓進・青路

伊興小学校改築空調設備工事請負契約

条件付一般競争入札

産栄・中桜

精神障がい者自立支援センター新築工事請負契約

条件付一般競争入札

東和地域学習センター大規模改修工事請負契約

条件付一般競争入札

三浦・堀真

建設共同企業体

その他の議案

入谷大橋及び花畑大橋耐震補強等工事請負契約

条件付一般競争入札

鹿浜五色桜小学校新築工事請負契約

条件付一般競争入札

鹿浜五色桜小学校新築工事請負契約

条件付一般競争入札

◇東和地域学習センター大規模改修空調設備工事請負契約
契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億3千411万1千600円
相手方 水工房・玉紘

◇補助第274号線歩道設置工事その4請負契約の変更について
資本金額 1億9千40万5千80円
資本金後金額 2億1千629万2千680円
相手方 株式会社東京三田組

◇町区域の変更について
江北三丁目の一部、江北四丁目の一部、江北五丁目の一部の町区域を変更するもの

◇平成26年度線越明許費繰越計算書
平成26年度線越明許費に係る歳出予算の繰越について報告するもの(翌年度繰越額18億9千760万円)

◇損害賠償額の決定

5月保育施設入所審査の対象から相手方がもれたことにより、希望する認可保育所の実際の利用開始が5月7日となり、同月1日から保育の利用ができなかったことによる損害並びに別施設との保育契約締結により入園料及び5月分の保育料を発生させたことに対する損害賠償額(5万4千149円)の決定

◇議決を得た契約の変更

(仮称)区営中央本町四丁目第2アパートその他改築工事ほか1件
議決を得た契約の変更
桑袋大橋耐震補強等工事

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員候補者として、近藤悦子氏、竹中綺子氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議ないものと答申しました。

議員提出議案

可決したもの

◇東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について
高山のぶゆき議員を推薦するもの

◇地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

◇認知症への取り組みの充実強化を求める意見書
(意見書要旨は別掲)

不採択としたもの

◇原発は再稼働ではなく全原発の廃炉を求める陳情

◇集団的自衛権の行使等を容認する閣議決定を撤回し関連法律の改正を行わない事を求める意見書を衆議院及び参議院に提出する陳情

◇国に対し「集団的自衛権の行使を具体化する安全保障関連法案を廃案にすることを求める意見書」を提出することを求める陳情

◇戦争につながる安全保障関連法案の廃案を求める意見書提出についての陳情

◇足立区放射能汚染の除染基準を高さ50cmから地表5cmに引き下げることを求める陳情

◇足立区の放射能汚染対策についての陳情
◇被ばく検査費用の助成を求める陳情
◇無料放射能健康診断と医療補償を求める陳情

◇放射能測定器の貸し出しを求める陳情

◇放射線測定器の区民への貸し出しについての陳情

◇学校・保育園給食の食材の放射能測定を求める陳情

◇学校給食等の放射性物質検査を求める陳情

― 請願・陳情の趣旨に沿いかねる

今定例会で可決した意見書(要旨)

意見書は関係機関に提出しました。

地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

国会において「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、国保の財政基盤の強化等の具体的な改革作業が始まる。
一方、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費助成制度の拡充等や国の交付金を活用した助成対象年齢の引き上げ等の事業拡充に取り組んでいる。よって、足立区議会は国会及び政府に対し、地方単独の医療費助成制度に対する国の減額調整措置について、左記のとおり早急に見直すよう強く求めるものである。

記

1 地方単独事業による子ども等に係る医療費助成と国保の

国庫負担の減額調整措置のあり方について、早急に検討の場を設け、結論を出すこと
2 検討にあたっては、少子高齢化が進行する中、子育て支援、地方創生、地域包括ケア等の幅広い観点から子ども等に係る医療の支援策を総合的に検討すること
以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて)

認知症への取り組みの充実強化を求める意見書

我が国では、2025年に認知症高齢者数は約700万人にも達すると推計されており、日本の認知症への取り組みが注目されている。

政府は認知症対策を国家的課題として位置づけ、認知症施策推進総合戦略、いわゆる新オレンジプランを策定し、「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を目指すこととした。

しかし、今後を考えれば、認知症への理解の一層の促進、当事者や家族の生活を支える体制の整備等、総合的な取り組みが求められる。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、左記の事項について適切な措置を講じるよう強く求めるものである。

記

1 認知症の方々の尊厳、意思、プライバシー等が尊重される社会の構築を目指し、学校教育などにより認知症への理解を一層促進するとともに、認知症の予防・治療法の確立、

ケアやサービスなど総合的な施策について、具体的な計画を策定することを定めた(仮称)認知症の人と家族を支えるための基本法」を早期に制定すること
2 認知症に見られる不安、抑うつ、妄想など行動・心理症状の発症・悪化を防ぐため、訪問型の医療や看護サービスなどの普及促進を地域包括ケアシステムの中に適切に組み入れること

3 家族介護、老老介護、独居認知症高齢者など、より配慮を要する方々へのサービスの好事例(サロン設置、買物弱者への支援等)を広く周知するとともに、認知症の方々が地域で暮らせるための環境整備を一層進めるための支援を強化すること

4 新オレンジプランの効果を高めるため、当事者や介護者の視点を入れた点検・評価を適切に行い、その結果を施策に反映させること

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あて)

(いずれも7月10日議決)

表彰

全国市議会議長会より、足立区議会議員2名及び前足立区議会議員2名が表彰されました

特別表彰(在職20年以上) 2名
一般表彰(在職10年以上) 2名

意見の分かれた案件 (63件中6件)

○=賛成 △=継続 ×=反対

件名	会派名及び結果					結果
	自由民主党	足立区議会公明党	足立区議会日本共産党	民主主義	足立区議会	
平成27年度足立区一般会計補正予算(第2号)	○	○	×	○		原案可決
平成27年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	×	○		原案可決
足立区特定個人情報保護条例	○	○	×	○		原案可決
足立区一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○		原案可決
足立区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○		原案可決
足立区建築審査会条例の一部を改正する条例	○	○	×	○		原案可決

委員会活動

委員会名	日程	主な内容			
		審査議案	報告	その他	
総務委員会	6月29日(月)	17	1	4	8
区民委員会	6月29日(月)	4		1	14
産業環境委員会	7月1日(水)	1			12
厚生委員会	7月2日(木)	14		2	12
建設委員会	7月2日(木)	21		5	16
文教委員会	7月3日(金)	2		5	13
議会運営委員会	6月4日(木)				第2回定例会について
	6月23日(火)				
	6月30日(火)			1	
交通網・都市基盤整備調査特別委員会	7月6日(月)				5
待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会	7月6日(月)			2	8
災害・オウム対策調査特別委員会	7月7日(火)		1	7	3
工リアデザイソン調査特別委員会	7月8日(水)			1	5

※ほか、無会派議員1名が上記6件について反対しました。

会議の様子を見るには? 会議の内容を聞くには?

【本会議や委員会を傍聴する】

区議会では、区民の皆さんの生活に関わる様々な問題について活発に議論を展開しています。本会議をはじめ、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会はどなたでも傍聴できます。

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。

本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎6階の区議会事務局にて受付し、整理券を発行します。(※1)

定員を超えた場合は、30分前に抽選し、当選者に傍聴券を発行します。

定員を超えなかった場合は、開会予定時刻30分前を過ぎた後、定員を満たすまで先着順に傍聴券を発行します。(※2)

なお、傍聴券には、住所・氏名の記入が必要であり、お帰りの際はご返却いただきます。

また、傍聴時、議場や委員会室の中では、携帯電話の電源はお切りくださいますようお願いいたします。

日程等は、区議会ホームページやあだち広報でご確認ください。

※1 整理券の発行は、傍聴席の定員が決まっているため、それを超える人数が集まる場合の抽選を想定して行っています。

※2 委員会の傍聴券は区議会事務局で、本会議の傍聴券は中央館8階の議場傍聴席入口で発行します。

問合せ 議事係 ☎03(3880) 5797

磁気ループを利用できるようになりました



▲磁気ループ専用受信機



▲磁気誘導アンプ

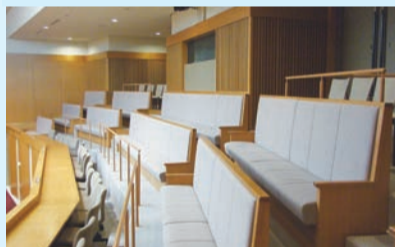
本会議および委員会の傍聴に際し、磁気ループ(難聴者補助設備)の利用を希望される方は、設置の準備などがあるため、傍聴する会議の前日(前日が閉庁日の場合は、直前の開庁日)午後5時までに上記問合せ先へご連絡をお願いいたします。

磁気ループってなに??

磁気ループとは、ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場を作るシステムです。磁界を発生させるループアンテナを輪のようにはわせることから、「磁気ループ」と呼ばれています。マイクからの音声を補聴器や専用受信機に送ることでクリアな音声を聞くことができるため、難聴者の聞こえを支援します。

ケーブルテレビで本会議中継を見る

本会議の様子はJ:COM足立(J:COMチャンネル足立111ch)で生中継しています(中間日を除く)ので、ケーブルテレビご加入の方はご覧いただくことができます。日程は区議会ホームページやあだち広報にてご確認ください。



本会議録を見る

区議会だよりに掲載いたしました、代表質問や議案内容等は概要です。詳細については区議会事務局・区政情報課・区立図書館で本会議録をご覧ください。

なお、今定例会の本会議録は、9月中旬以降、ご覧いただける予定です。

議会ホームページで本会議録画中継を見る

インターネットをご利用の方は、区議会ホームページにて本会議録画映像をご覧いただくことができます。映像は本会議開催日の夕方頃に掲載します。



議会ホームページで会議録を見る

インターネットをご利用の方は、議会ホームページにて会議録データをご覧いただくことができます。本会議(平成11年第1回臨時会以降)や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会(いずれも平成24年1月開催以降)の会議録を掲載しています。

会議録データが整うまでの間は、速報版(※)をご利用ください。

※会議録が整うまでの暫定的なものであり、その後修正される可能性があります。

みなさんの声を 請願・陳情で

請願書・陳情書の例

〇〇についての請願(陳情)
請願(陳情)の趣旨
.....
理由
.....
請願者(陳情者)
住所
氏名 ㊟
TEL
紹介議員(陳情には不要)
氏名 ㊟
年月日
足立区議会議長 〇〇〇〇

請願・陳情は、議会に対して文書で施策の実現を要望することができる制度です。足立区議会では、これらを慎重に審査し、結果を提出者に通知します。請願書・陳情書には、特に所定の様式はありませんが、左の例を参考にしてお書きください。請願書・陳情書に必要な事項は次のとおりです。

- ① 請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ② 請願者・陳情者の住所、氏名(法人の場合は、その名称及び代表者の氏名)、電話番号
- ③ 押印(私印。ただし自署の場合は不要)
- ④ 紹介議員の署名又は記名押印(陳情書の場合は不要)
- ⑤ 提出年月日
- ⑥ あて先(足立区議会議長)

※議員の紹介のあるものを「請願」、紹介のないものを「陳情」といいます。足立区議会での取扱いとは同じです。

ようこそ足立区議会へ ～区内小学生の議場見学より～

小学校3年生の社会科見学として、7月14日に区立平野小学校が足立区役所を訪れました。防災センターやエコガーデン等の見学の後、区議会議場を見学しました。

